

令和2年6月11日

奥尻中学校生徒・保護者の皆さんへ

奥尻町立奥尻中学校
校長 宮腰屋 由

新型コロナウイルス感染症防止及び熱中症予防に関する学校の生活様式について
向暑の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動の推進に際しまして、ご理解とご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

さて、北海道教育委員会の通知のもと、国から示された「学校の新しい生活様式」（生徒を通じてプリント配付で周知済み）に基づき、学校教育活動を6月より再開したところです。

また、日ごとに暑さも増し、今までの新型コロナウイルス感染症防止に加え、熱中症対策も行っていかなければなりません。つきましては、「学校の新しい生活様式」に基づき、下記のように取り組み、生徒の安全に努めていきますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

記

○基本となる考え「学校の新しい生活様式（文部科学省より）」について

新型コロナウイルス感染症については、いまだ不明な点が多く、有効性が確認されたワクチンも存在しないため、私たちは、長期間、この新たな感染症とともに社会で生きていかなければなりません。

そのため、感染リスクはゼロにすることはできないという事実を前提として、子どもたちの健やかな学びを保障していくために、学校においても「3つの密」を徹底的に避ける、「マスクの着用」及び「手洗いなどの手指衛生」など基本的な感染対策を継続する「新しい生活様式」（手洗い、マスク着用、消毒（手指・使用道具）、三密（密集・密接・密閉）回避、換気 など）を導入し、感染のリスクを可能な限り低減しつつ教育活動を行ってまいります。

1 具体的な場面毎の感染症予防対策について（「学校の新しい生活様式（文部科学省より）」に基づく）

（1）マスクの着用について

・基本的には常時マスクを着用することが望ましい。ただし、気候の状況等により、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外す。その際は、換気やソーシャルディスタンスを十分に保つ。

（2）体育の授業や部活動において

・マスクの着用は必要ないが、換気やソーシャルディスタンスを十分に保つ。
・気温が高い日などは、熱中症に注意すること。体育館などで実施する必要がある場合は、こまめな換気や消毒液の使用を徹底する。
・体育の授業前にマスクを外してから授業後にマスクを着用するまでの間、生徒間の距離を2m以上確保するとともに、ランニングなどで同じ方向に動く場合はさらに長い距離を確保する。
・マスクの着用を希望する場合は、呼気が激しくなるような運動を行うことを控える。

2 熱中症予防行動について（環境省・厚生労働省の「令和2年度熱中症予防行動」に基づく）

・屋外では2m以上確保し、マスクをはずす。
・マスクを着用しているときは、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩をとる。
・のどが渇く前に水分補給する。
・1日当たり1.2リットルを目安に水分をとる。